

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年12月9日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【生体認証登録時の個人番号の登録間違いについて】 当社委託員が、ホールボディカウンター受検者の測定結果の打ち出しに記載されている個人番号と管理区域立入許可証に記載されている個人番号が相違していることを確認。 原因を調査した結果、ホールボディカウンター受検時の個人認証のために事前に登録した生体認証において、個人番号を誤って登録したものと確認。 なお、当該者の生体認証登録における個人番号については、翌日に再登録を行い、ホールボディカウンターを受検。今後、今回確認された作業員以外の生体認証登録者全員の個人番号と、管理区域立入許可証に記載されている個人番号を確認し、相違が確認された場合には、修正を行う。 また、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月6日
2	<p>【既設多核種除去設備循環タンク(C)攪拌機モータ下部接続フランジからの潤滑油漏えいについて】 当社運転員が、既設多核種除去設備の現場パトロールにおいて、循環タンク(C)攪拌機モータ下部とギアボックスの接続フランジから潤滑油が漏えいし、タンク上部と下部に油たまりを確認。 なお、油は堰内に溜まっており、環境への影響がないことを確認。 当該接続フランジ部の増締めを実施し、漏えいの停止を確認。 また、漏えいした油のふき取りを実施済。 今後、原因調査ならびに再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月6日
3	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備における廃棄物供給機の電動機の異常な振動発生について】 当社委託員が、増設雑固体廃棄物焼却設備の廃棄物供給機(※)を稼働させたところ、電動機部分の異常な振動、浮き上がりを制御室のモニタ画面にて確認したことから、当該機器を停止。 現場を確認したところ、当該機器の調査・修理が必要と判断したことから、増設雑固体廃棄物焼却設備の焼却を停止。 なお、廃棄物供給機は、木材チップを燃焼炉に運搬・投入をするための機器であり、放射性物質の漏えい等の影響はないことを確認している。 今後、原因調査ならびに再発防止対策を検討。</p> <p>※廃棄物供給機:木材チップを燃焼装置側へ移送するためのベルトコンベアのようなもの</p>	GⅢ	12月7日